

「タラッタ、タラッタ」



佐々木氏



— 9 —

『ソクラテスの弁明』や『オイコノミクス』などを著した古代ギリシアの著述家クセノポンは、ソクラテスの弟子の一人として師の思想を著作に残したことで知られる。一方で彼は、アテナイの軍人の家系に生まれた戦士でもあった。

紀元前五世紀末、クセノポンはペロポネソス戦争によって覇権を失ったアテナイから離れ、百年前に故郷を蹂躪したかつての仇敵ペルシア帝国に傭兵として赴く。王弟キュロスが王位をめぐる兄王と争い、ギリシア人たちを傭兵として雇ったのである。

しかしキュロスが破れ、クセノポンほかおよそ一万人のギリシア人傭兵たちはペルセ

ポリスを脱出する。もちろん報酬もえられなかった。ギリシア人たちは、はるか西方にある故郷に戻るため、町々で略奪しながら追撃者たちと戦いを繰り返した。

およそ二年にわたる苦難の逃避行のはてに、クセノポンたちギリシア人傭兵はようやくアナトリア（現在のトルコ）西端にたどり着く。すでにその数は半分に減っていた。精魂尽き果ててぼろぼろになった彼らの前に美しい海が広がっている。

かつてホメーロスが「葡萄酒色の海」と称えたエーゲ海、すなわちギリシア人にとつての「われわれの海」である。それを目にしたとき誰からと

もなく口をついて出たのがサブタイトルの「タラッタ、タラッタ（海だ、海だ）」である。傭兵たちの逃避行を主題とした彼の著作『アナバシス』第四巻のハイライトとして広く知られている。

今一つ記憶が定かではないが、私が初めてこの著作を読んだのは、いわき市立美術館が開館してまもないころだったと思う。

簡潔も過ぎれば…

私は海のすぐそばで生まれ育ったが、いわきに来て美術館の開館準備と開館後の「ドタバタ」（本当に、ここでは書き切れないほどドタバタしていたのだ）に追われ、潮風の匂いも波の音も忘れかけていた。疲れていた。そんなときにこの一文に出合ったのである。

ローマの詩人ホラティウスは「簡潔も過ぎればあいまいになる」と言った。確かに適切な説明には論理性と一定の分量が必要であるが、時折見かけるこうした簡潔な一文は、むしろそのあまりの簡潔

Iwaki民間救急タクシー
 医療的ケアを継続搬送いたします
 (酸素・吸引等)

いわき市消防本部認定
 民間救急・寝台タクシー、車イスタクシー
 予約・問い合わせ
0246-24-9131
090-1066-3332

冷え症
 頭痛・肩こり・貧血・生理不順
 生理痛・めまい・のぼせ
 これからの季節、女性の必需品としておすすめします。

保険調剤薬局
シンシロ薬局
 小名浜西町1-6 ☎(0246)92-3326



●イリヤ・レーピン「なんとという広がりだ」1903年（国立ロシア美術館、サンクトペテルブルク）

レーピンはナロードニキに身を投じた若者や豪放なコサックを描く風俗画などで知られるロシアの国民的画家。59歳のときに制作された本作は、初めて訪れたフィンランドの海から着想された

さゆえに私たちの想像と共感を強制的に促し、強い印象を残すものである。
備兵たちの苦難と私の疲れなど比べるべくもないが、それでもこの一文から私の心の大切な何かよみがえが蘇よみがえつてくるように感じられた。忘れがたい思い出である。

余談であるが、現在、宇都

宮と奥会津の柳津で仕事をしている。充実しているが、どちらにも内陸で海がない。だからだろうか。数日ぶりに久之浜の自宅に帰ってくるたびに、車の中で思わず「タラッタラッタラッタ」と鼻歌が出してしまうのである。

十九世紀後半から二十世紀初頭にかけて帝政末期のロ

シアで活躍したリアリズムの巨匠イリヤ・レーピンが一九〇三年に制作した、若い男女が波打ち際に服が濡れるのもかまわずはしゃぎまわる絵画がある。ロシアでは翌年には日露戦争、さらにその翌年には第一次ロシア革命が起こる。

海を見て故郷思う

描かれた海はバルト海。「なんとという広がりだ」というタイトルをめぐっては、母国ロシアを中心におおむね「いかなる困難にも立ち向かうロシアの若者たち」という解釈が主流である。
だがその解釈はあまりに政

治的であり我田がでん引水いんすい的ではないだろうか。私にはむしろ、当時のロシアを覆う閉塞へいそくと不安から逃れ、広大な海を前にして本来そうあるべき「自由」を感じている若者たちを描いたように見えるのである。

「タラッタ、タラッタ」。ギリシア人備兵たちは海を見てその向こうにある故郷を思った。そして―あくまで私の解釈であり、とりわけこの一年―描かれたこのロシアの若者たちは、バルト海の向こうに自分のなりたい者になれてやりたいことのできる、つまり自由な世界を見ていたのかもしれない。

筆者プロフィール

佐々木 吉晴

ささき・よしはる

1956（昭和31）年宮城県生まれ。東北大学文学部哲学科美学西洋美術史専攻卒業。いわき市在住。1980年、いわき市立美術館建設準備室に勤務、学芸課長、副館長を経て2012年から2021年まで館長。現在、宇都宮美術館長、斎藤清美術館長、全国美術館会議理事・災害対策委員長



医療法人 杏順会 -泌尿器科・内科・人工透析内科-
おなはま腎・泌尿器科クリニック

院長 渡邊良太

■泌尿器科

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前 8:30~12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 午後 2:00~5:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

■内科

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|---|---|---|---|---|----|
| 午前 8:30~12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | 隔週 |
| 午後 2:00~5:00 | ● | ● | ● | ● | ● | 隔週 |

【受付時間】各診療時間の30分前に開始・終了【休診日】日曜日、祝日
■人工透析内科（予約制）【休診日】日曜日



いわき市小名浜林城字塚前13-3
http://www.onahama-jinhi.com

0246-84-5011(代)

なかにし
内科クリニック

内科・呼吸器科・消化器科・リウマチ科・放射線科

■診療時間
月・火・水・金 / 8:00~12:30 14:00~17:00
土 曜日 / 8:00~13:00
■休 診 日 / 木曜・日曜・祝日

院長 中西 文雄

いわき市平北白土字宮前58-1 tel.0246-21-8181